

第4回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議 議事概要

○と き：令和2年2月7日（金曜日）17時20分から18時00分まで

○ところ：本館5階 議会特別会議室（大）

○出席者：吉村知事・田中副知事・山野副知事・山口副知事・危機管理監・政策企画部長・総務部長・財務部長・府民文化部長・福祉部長・健康医療部長・商工労働部長・環境農林水産部長・都市整備部長・住宅まちづくり部長・教育長・府警本部警備部長・大阪健康安全基盤研究所公衆衛生部長・大阪市健康局主席医務監

【会議資料】

会議次第

資料1

資料1－1

資料1－2

資料2

別添1

別添1－1

別添2

資料「関西国際空港の欠航便・入国者数の状況」

【知事】

- ・報道でも連日、新型コロナウイルスの報道がされている状況です。国内の感染者に加えて、クルーズ船、みなさんご承知のとおり、その中で合計**61**名の方がコロナウイルスに感染するということが報道されているところです。非常に感染力が強いウイルスだという認識が広がってきていると思います。
- ・一方、世界を見れば、中国では**2.8**万人と非常に広がってきている、**28**か国に感染が広がっている、そういう状況だと思えます。
- ・府民のみなさんにおいても、やはり不安が多い、そういう状況になっていると思えますが、全庁をあげて正確な情報を発信するとともに、適切な対策をとって、そしてこの感染を抑えていく、拡大を抑えていく、ということをぜひ進めていきたいと思えます。
- ・また、こういった影響があって、中国では武漢も閉鎖されていますし、街の閉鎖はどんどん行われている状況です。大阪のインバウンド産業であったり、観光産業をされている中小企業のみなさんや、あるいは個人事業主のみなさんは、団体旅行の一時停止であったり、このコロナウイルスによって、非常に売り上げも下がってキャンセルも出て、非常にしんどい状況にある中小企業や小売事業者のみなさんも多く出ていると思えます。そういったみなさんに対する府としての独自の支援策も、しっかりやっていきたいと思えます。
- ・あとは、感染拡大に備えた全庁体制と現状の確認ということも踏まえて、この本部会議を進めていきたいと思えますので、よろしくをお願いします。
- ・それから、前回からですが、大阪市からも参加をいただいています。大阪市とも連携してやっていきますし、府下市町村とも連携をとって、大阪府全域で抑えていきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

※資料1に基づいて、健康医療部長より説明。

資料1-1に基づいて、健康医療部長より説明。

資料1-2に基づいて、健康医療部長より説明。

【総務部長】

- ・全庁の応援体制について、内容が確定次第、各部局へ総務部人事課から依頼をさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

資料2に基づいて、健康医療部長及び商工労働部長より説明。

【知事】

- ・これは非常に重要なところだと思います。大阪は特に、インバウンドのお客さんを相手に商売をされている中小企業のみなさん、あるいは個人事業の方、小さな商店、たくさんあります。非常に大きな影響を受けていると思います。ホテルもそうですし、宿泊業もそうですし、飲食店もそうですし、あるいは小売店もそうだと思います。様々、コロナウイルスで急激な影響を受けている中小企業、個人事業のみなさんを、しっかり支援していききたいと思います。
- ・そのためにも、大阪府独自の緊急融資制度は、ぜひ創設をしていききたいと思います。金利についても、非常に高い金利であればなかなか厳しいですけれども、**1.2** パーセントの固定金利にしまして、これは大阪府が介入する制度融資ですから、中小企業、小売事業のみなさん、小規模のみなさんでも、この金利で、この要件を満たせば、無担保で**8000**万円、限度額は2億円という中で、特に運転資金、困っている状況にあると思いますから、そして設備資金について、信用保証協会付きの制度融資、大阪府独自のものを実行していききたいと思います。
- ・非常に現時点でも、苦しい状況になられている方もいると思いますから、来週の月曜日から、この相談窓口では、この新たな新制度について相談を受け付けていききたいと思います。
- ・そして金融機関は、先ほど部長からもありましたが、**14**日までに調整をしまして、応援してもらえ金融機関をそこで公表、**17**日から実施をしていききたいと思います。ですので、商工もそうですし、府民文化もそうだと思いますが、中小企業のみなさんと接する部局、そして特に市町村、大阪市の松井市長とも話をしていますが、大阪市内の企業に多くいう、市町村長とも連携しながら、この大阪府の融資制度は進めていききたいと思います。
- ・あわせて国に対しても、セーフティネット保障の制度をコロナについて全国的に非常に厳しい状況になっている経営者の方もいると思いますから、それを要望もしていききたいと思います。特に、大阪は閑空も抱えていますし、観光のお客さんも多いということで、率先して進めていききたいと思います。
- ・相談の窓口としては、府市でつくった大阪産業局の中での相談拠点、それから近くの商工会とか商工会議所でも案内できるように、よろしく願います。

【山口副知事】

- ・まず、緊急資金つくっていただいたということで、しっかり事業者あるいは小売業者のみなさんにお知らせして、対策をしっかりとしていただきたいということですが、あわせてコロナウイルスの経済への影響というのが、今のところ短期間で収束するのか、もう少しかかるのか、ちょっと見通せない

状況ですので、商工労働部あるいは政策企画部にて、少し、大阪の経済状況がどういう状況になっているのか、しっかりウォッチをしていただくというか、分析をしていただいて、先ほど知事も仰ってましたが、機を見て敏に経済対策をとるか、場合によっては国に要望していくということも必要になるかもしれませんので、そこも少し動向を、しっかり見ていただきたいと思います。

- ・あわせて、国も対策を打たれると思いますので、そういうことも含めてどういう形で展開されているのか、そこはしっかりと見ていただきたい、いろいろな対策を、これ以外にもとる必要があるなら検討していただきたい、ということをお願いしたいと思います。

※資料「関西国際空港の欠航便・入国者数の状況」に基づいて、政策企画部長より説明。

【府民文化部長】

- ・大阪府内の宿泊のキャンセル数につきましては、現在、全体の数字はありません。今、旅館・ホテルの組合と一緒に全体を調べようとしております。
- ・ただ、我々としても、府内の **10** 弱のホテルにご協力いただきまして、具体的にヒアリングをいたしました。それらのホテルで、1月 **24** 日から3月1日までの予約のうち、大体2割から3割程度のキャンセルが、今発生しています。これはキャンセルですので、全てがコロナウイルスかどうかは、ホテルも識別ができないということですが、今のところは、そういう数字を持っております。これから全体の調査をしたいと思います。

【知事】

- ・現実、大阪の場合、ホテルにしても何にしても、非常に数が多いというところがあると思いますので、統計、収集は簡単ではないと思いますが、ここはぜひ、観光局や団体とも協力して、具体的な数字をできるだけ早く収集するようによろしくお願いします。
- ・ヒアリングレベルでも、2割から3割はキャンセルがあるという状況ですし、先ほどの関空の入国で見ると、大体、中国人の入国者については **30** パーセントくらいは減っているのと。
- ・ただ、実際は、比較しているのは今年1月 **24** 日から1月 **30** 日ですけど、今年、団体旅行もやめようというのを中国政府が通知したのは **27** 日付けですから、そこで、団体旅行行っているわけなので、多分、実数でいくと、もっと後に影響が出てくる、いわゆる禁止されていないときの数字も入っているので、そういった意味では、明らかにこうやって団体旅行を完全に禁止して、そして中国本土でも感染者が増えているという状況で、日本も湖北省は禁止というような対応をとられている中で、どんどん向こうの入国というのは減ってくるだろうと。
- ・ただ、実際の影響というところで見ると、これより大きく見る必要があるのかな。現実に近い数字は、この「欠航便」が現実に近いかなと思いますから。現実に需要がなくなって欠航しているのが約 **40** パーセントということですから、これは航空会社がいち早く需要を把握して対応するでしょうから、そういう意味で、約3割から4割は、飛行機の便であったり、入国者であったり、様々キャンセルであったり、経済活動としてはインバウンドを対象にしたものについては、特に中国のインバウンドを対象としたものについては、3割から4割くらいは減少してきているのではないかなと見るのが素直かなと思います。
- ・この数字を正確に把握することが重要だと思いますので、府民文化部においては、このキャンセル数等も含めて具体的な数字の把握をお願いしたいと思います。
- ・ただ、数字を待つ支援策をするというのは、今回は遅いと思いますから、先んじて大阪府としての、

この緊急融資制度を構築して、中小企業、個人事業者のみなさんの支援をやっていきたいと思いません。

【府民文化部長】

- ・2月5日に友好交流を結んでおります上海市(人口約**2400**万人)、江蘇省(人口約**8000**万人)から、医療用の物資が不足していると、大阪府に対して協力要請がございました。いずれも医療用のものとして、医療用の防護マスクとか、手袋やゴーグル含めまして、非常に現在入手が難しいものが多い状況でした。
- ・健康医療部にご相談したところ、現在、府が備蓄している医療用の防護服があるということで、その一部を支援物資として、友好交流都市である上海市と江蘇省に提供していただければと考えております。

【健康医療部長】

- ・そのご相談をいただきまして、新型インフルエンザ用に備蓄している防護服、マスク等がございました。マスクにつきましては、先ほど申し上げましたが、医療機関でも非常にひっ迫しているということで、これは医療機関への配布を優先させていただきたいと思っています。
- ・防護服につきましては、当面、健康医療部としては、1万着ほど今の備蓄の中らご協力を差し上げたいと考えているところです。材料の不織布が、そもそも中国から輸入されているということで、当面の国内での需給状況を見極める必要もありますので、まずは1万着ということを考えております。

【知事】

- ・上海市、江蘇省は姉妹都市だということで、感染者も出て、医療用物資が完全に不足しているから困っているという直接の要請があったということですから、これは、もちろん大阪の体制は整えた上で、困っている隣人に対して協力していくというのは、ぜひやっていきたいと思えます。
- ・もちろん前提として、大阪府においても備蓄がありますから、その備蓄の範囲で、もちろんこれは大阪府でも非常に流行するという前提の備蓄数というのは、必ず確保しておく必要があると思えます。
- ・その備蓄数は、健康医療部からも聞いていますが、そういった観点から考えたときに、まず部長が先ほど言ったとおり、まずは防護服を1万着支援したいと思えます。あわせて、災害医療用の防護服を2万着、これを支援しようと思えます。
- ・その上で、当然これは大阪の体制を整えた上での措置ではありますが、現在、姉妹都市の上海市、江蘇省が、これがなくて非常に困っているということですから、その応援もして、大阪における体制もしっかり整えていきたいと思えますので、よろしく願います。